

Editor's Choice

今月の編集部オススメのソフト&ハード

今月のオススメは、検索サイトやFTPサイトへのアクセスが簡単な「InternetFastFind」と、初心者でも簡単にホームページが作れる「ASYMETRIX WebPublisher」、MPをサポートしたユニークなPCカード型TA「DUO128」、バージョンアップで完成度が高まったHTMLエディター「HOTALL Ver3.0 for Windows 95」、ネットスケープナビゲーター専用の読み上げソフトウェア「NETMan Talks!」だ。

今月のラインナップ

ウィンドウズ95の操作性と統一されたインターネット用ヘルパーユーティリティー

Internet FastFind for Windows 95

[発売元] 株式会社シマンテック



テンプレートと簡単な操作でホームページを手軽に作成する

ASYMETRIX WebPublisher

[発売元] トランスコスモス株式会社



コネクタを替えるだけでモデムがTAになるPCカード

DUO128

[発売元] 株式会社ビー・ユー・ジー



プリンターポートがふさがらないキャプチャー機能付きビデオカメラ

D-CAM

[発売元] 株式会社コンテック



ワープロ感覚で作れる高機能なホームページ作成ソフト

HOTALL Ver3.0 for Windows 95

[発売元] デービーソフト株式会社



ネットスケープで表示したページを音声で読み上げる

NETMan Talks!

[発売元] 株式会社システム・ラボ



付録のCD-ROMに収録

このコーナーの見方



市販のハードウェア製品



市販のソフトウェア製品



シェアウェアのソフトウェア



フリーウェアのソフトウェア



ウィンドウズ95用



ウィンドウズ3.1用



ウィンドウズNT用



OS/2用



マッキントッシュ用



UNIX用



動作環境



発売元



電話番号



価格



関連情報



バージョン



作者/開発元



入手先

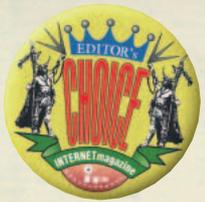


付属品



ファイルサイズ/最速転送時間

[注]「最速転送時間」とは、28800bpsのモデムを使って圧縮なしでファイルを転送した際の、理論上で最速の転送時間を意味します。ダウンロードするときの目安としてください。ファイルサイズ(バイト)×10÷28800で計算しています。端数は切り上げています。



ウィンドウズ95の操作性と統一されたインターネット用ヘルパーユーティリティ

インターネット ファーストファインド

Internet FastFind for Windows 95



9,800円



株式会社シマンテック

ここがスゴイ!

- 1 ウィンドウズ95のエクスプローラ用拡張機能として動作する
- 2 Webドキュメントの検索やFTPのファイル検索や情報収集が簡単にできる
- 3 ちょっと便利な機能が多数盛り込まれている

パソコンでインターネットを利用する環境も今ではかなり整ってきてはいるものの、まだまだ細かな使い勝手の点では足りない面も多い。シマンテックのInternet FastFindはそんな不満を解消する小物ツールの集合体だ。特にウィンドウズ95のエクスプローラを拡張するかたちで実現するFTPやインターネットの検索機能は、ウィンドウズ95と操作環境が統一できるうえ、素早い機能の呼び出しができる点で評価できる。ほかにもZIPやLZH形式の圧縮・展開を行う機能や、パソコンのハードウェアを自動検出してメーカーなどの関連URLを自動検索する機能など、ユニークなユーティリティが含まれている。

▶ 検索機能を中心とした機能

FastFindの名前のとおり、一番の売りものは2つの検索機能だ。インストールすると、エクスプローラの「ツール(T) - 検索(F)」メニューにWebFindとNetFileFindというメニューが自動的に追加され、いつでもすぐに呼び出せる状態になる。

WebFindはWebドキュメント検索機能で、Yahoo!やAltaVista、HotBotといった有名なサーチエンジンに対して、入力された1つのキーワードで同時に検索をかか、すべての結果をまとめてWWWブラウザに表示してくれる。この際、検索結果はオリジナルのページとして1つのページにまとめて表示するため、何度も複数のサーチエンジン呼び出して結果を確認する必要がなく、効率がいい。操作性も、エクスプローラの見慣れた検索用のダイアログボックスと同じなので使いやすい。また、インターネットエクスプローラとネットスケープを起動すると、タイトルバーに、機能呼び出し用のボタンが張り付くようになっている。

NetFileFindはArchieの役割を果たすもので、思い付いたファイル名を入れて検索を実行すれば、すぐにArchieサーバーに問い合わせ、該当するファイル名の存在するFTPサーバーの位置を表示する。この一連の操作と結果の表示方法はエクスプローラのファイルやフォルダの検索機能と同一のため、操作にまったく違和感がない。もちろん、表示結果からそのままファイルを別のフォルダなどに、いつもの感覚でドロップすればそのままコピーする感覚でダウンロードできる。

つまり、「FastFind」の名前はウィンドウズ95のエクスプローラとシームレスな操作環境を提供することで、操作の修得期間の短さ、使い慣れた環境での素早い操作を実現することからつけられたものなのだ。

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]

▶ 多くの機能がウィンドウズ95のエクスプローラと操作性を統一

このほか、EasyFTPという機能により、エクスプローラの中にftpクライアントの機能が追加され、ドラッグ・アンド・ドロップでftpサーバーへのアップロードやダウンロードが可能になり、フォルダで各サーバーの情報を管理できるようになる。また、EasyZIP機能により、インターネット上のデータの利用では不可欠な、ZIPやLZH形式データの圧縮・解凍も特別なツールを起動せずにマウスのクリック1つで可能になる。Notify機能では、指定した特定のURLを定期的にチェックし、ポップアップなどで知らせてくれる。

WebLaunch機能では、常にWWWブラウザのブックマーク機能と連動するかたちで、タスクバーからすぐに特定のWebページが呼び出せる。このあたりも、まさに操作性はウィンドウズ95の延長だ。

発想がユニークな機能としては、PathConnectがある。これは、実行しているパソコンのハードウェアを自動検出して、それぞれのハードウェアの最新ドライバーのURLを自動検索する機能だ。最後に、LiveUpdate機能はシマンテック独自の自動アップデート機能で、ボタン1つで、FastFindに関する最新データやアップデートプログラムを自動的にダウンロードして更新する機能である。

▶ 操作性を統一することの効率アップは有効

少し詳しい人ならば、FastFindの提供する機能のいくつかはほかにもいくらでも代替手段のあるものだと思いが付く人も多いだろう。シェアウェアやフリーソフトの組み合わせ、Web上で提供されている高機能なサーチ機能などなど。

しかし、それらをすべて自分で見つけだし、うまく組み合わせて利用するノウハウを蓄積するまでには、それなりの時間と手間がかかっているはずだ。

FastFindはこうした部分を1つのパッケージで解決するがゆえに手の届くツールとなっている。高度な操作よりも、時間と操作の手間を手軽に効率化させたいという人には勧められる製品だ



1 起動すると通常のウィンドウではなく、丸く表示される。



2 検索しているところ。複数のサイトを一度で検索できる。

Internet FastFind



シマンテック株式会社



9,800円



1.0



03-3498-1118



<http://www.symantec.co.jp/>



12,800円



トランスコスモス株式会社



テンプレートと簡単な操作でホームページを手軽に作成する

ウェブパブリッシャー

WebPublisher

ここがスゴイ!

- ① テンプレートを使って簡単にホームページが作成できる
- ② テーマごとにデザインされたページのテンプレートが20種以上
- ③ FTPなどを使ったサーバーへのデータ登録まで全自動

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



① 画面の案内に従って入力していくだけでページが作れる。

WebPublisherは、あらかじめ20種を超えるホームページのテンプレート(ひな型)を持ち、これをもとに幾つかの設定とデータを入力するだけで、すぐにホームページが作成できてしまう新手的ホームページ作成ソフト。HTMLの知識を必要としないばかりか、ワープロのような編集作業さえ必要とせず、ホームページが作成できるという変わり種だ。

では、過去に作成して保存したホームページを再編集する工程を選択することもできる。

1ページのみの場合、タイトルを入力と、本文のテキストの入力、本文の隣に埋め込むGIFイメージ1つだけが任意に指定できる。ほかは、背景の色や基本デザインのGIFイメージなどはデフォルトで設定されたものが適用される。

複数ページの場合は、まずステップ1で用意された20種類以上のテンプレートから好きなデザインを選ぶ。テンプレートはテーマ別に分かれており、宇宙、木目、中世、スポーツといったデザインの中から1つを選択する。そしてステップ3で、管理用のプロジェクト名とメールアドレスなどを入力し、ステップ4に進む。

ここではテキストとGIFイメージデータの4つの配置スタイルを選択肢とし、必要なページ数だけスタイルを割り当てる。ステップ5へ移ると、今度は前のステップで割り当てた各ページのテキストのフィールドとGIFイメージデータのフィールドに任意のデータを割り当て、さらにタイトルを入力する。ここではプレビューが可能なので、データを入力しながらいつでもそのページの完成画面を確認することができる。また、テキストのフィールドではフォントのボールドやイタリックの指定、右寄せや中央寄せといった配置スタイル、リンクの設定も可能で、ファイルからの読み込みもできる。そしてステップ6では最終的にHTMLで出力する際の確認を行い、生成ボタンを押して実行する。

ここまででホームページの作成は完了するが、さらにステップ7でFTPなどでサーバーへの登録も自動的に行える。ステップはいつでも前後に移動することができ、また保存もできる。

▶ きわめて短い作業でホームページを作成

WebPublisherは、それぞれの作業の過程を「ステップ」と呼ぶ。ホームページ作成の手順はステップ1から始まり、1ページだけのホームページを作成する場合はステップ2までで終了し、複数のページ構成のホームページの場合でもステップ6で完了する。さらにサーバーなどへの登録作業を追加したとしても、ステップはこれに1つ加わるだけだ。

これだけ少ない作業でホームページを作成できるのは、あらかじめ用意されたホームページのテンプレートを利用し、決められたフィールドに任意のデータを埋め込んでいく定型処理タイプのもだからだ。

こうした方法では、レイアウトなどに関するデザインの自由度は低くなるものの、その代わりに極めて短時間で簡単にホームページが作成できるメリットがある。

WebPublisherでは、20種類を超えるテーマ別にデザインされたテンプレートを用意し、さらにこれらを部分的にデザインを変更できるようにすることで、ある程度の表現の幅を確保している。

操作方法から見れば、ソフトから入力を促される問いに次々に答えていくだけでホームページが完成する、いわば「ホームページ作成ウィザード」のようなものになっている。

▶ 最初のテンプレート選択でデザインの大枠が決まる

ホームページ作成の手順は、1ページのみで完結したものを作ると、複数ページを作る場合とは内容が異なる。これは、WebPublisherを起動してステップ1に入った段階で選択することになる。ステップ1



① WebPublisherで作ったホームページ。テキストを入力するだけでこれだけのページができる。

WebPublisher



トランスコスモス株式会社



1.0



12,800円



03-3586-2880

▶ 手軽なホームページ作成ソフトの利用価値

このように、ほとんど自動的にステップを進めることで、手軽にホームページが作成できる。初心者にももちろん有効だが、イントラネットでの利用でも有効だろう。なぜなら、既存の簡単なドキュメント類はこれですぐにHTMLベースのドキュメントとして作成や管理ができるからだ。

誰もがHTMLを理解したり、白紙の状態からのデザイン力を持ち合わせていたりするわけではない。スキルや状況に合わせてこうしたツールを利用するのも1つの有効な手段ではないだろうか。

(石橋文健)

コネクタを替えるだけでモデムがTAになるPCカード

DUO128



オープンプライス



株式会社ビー・ユー・ジー

ここがスゴイ!

- ① ケーブルの交換でモデムにもTAにもなる
- ② ケーブルを抜けばカードが外れた状態になる

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



NTT-TE東京が販売する「MN128」を製造しているビー・ユー・ジーが、モデムにもTAにもなるPCカードを発表した。カードスロットが節約できるという単なる共用カードとしてのメリットだけではなく、モバイルコンピューティングを快適に行うための工夫が随所に見られる魅力的な商品となっている。

▶ コネクタを交換するだけで機能を変えられる

モデムとLANの共用カードやSCSIとPCM音源の共用カードなど、最近では2つの機能を持つPCカードが多い。DUO128も共用カードの一種だが、ほかの共用カードと違って、TA機能とモデム機能を同時に使うことはできない。場合に応じてTAとモデムを切り替えて使うようになっている。

機能の切り替え方法は、DUO128の大きな特徴となっている。ISDNとアナログは回線につなぐ際のコネクタの種類が違うが、このコネクタの部分だけを交換することによって切り替えるようになっているのだ。これは実際にモバイルコンピューティングを行う際に実に使い勝手がいい。ケーブルを交換するだけで、パソコンは自動的にモデム(TA)からTA(モデム)にカードを替えたと判断してくれるからだ。

▶ ケーブルを抜くとカードを外したと判断される

機能を切り替える際にコネクタ部分を抜くと、カードが抜かれた状態になる。また、接続ケーブル本体を抜いても、同じように「カードを抜いた」とパソコンが判断するようになっている。これもパソコンを携帯して持ち歩く人には都合がいい。PCカードをスロットに差したままだと、バッテリーの電力消費がその分だけ大きいからだ。わざわざスロットからPCカードを抜くよりは、ケーブルを抜くだけのほうがはるかに手軽である。

▶ モデムの接続速度は14.4Kbps

TAとしての機能は同期64Kbps接続に加え、非同期38.4Kbps、128Kbps接続を実現するMP(PPPマルチリンクプロトコル)にも対応している。モデムはデータ通信、FAX通信ともに接続速度が最高14.4Kbpsになっている。この点は少し惜しい。やはり今となっては14.4Kbpsは力不足と言わざるを得ない。33.6Kbpsとまでは言わないが、28.8Kbpsは実現してほしい。



① DUO128の本体。ケーブルはかなり長い。

試用レポート

▶ モデム設定ファイルも自動的に切り替わる

今回はPC/AT互換機のノートパソコンを使用し、IIJに接続してみた。ウィンドウズ95のモデムウィザードを使ってモデム設定ファイルをインストールするだけなのでとても簡単だ。まず同期64Kbpsで接続してみたあと、TAからモデムに切り替えてみた。コネクタを抜くとノートパソコンから「ピッ」と音がして、PCカードが本体から外された状態になった。アナログ用のコネクタを差すと、また音がして新しいカードが差さった旨のメッセージが出る。ダイアルアップアダプターを見ると、使用するモデムの名前の欄が「BUG Linkboy DUO128-TA (64K PPP)」から「BUG Linkboy DUO128-MODEM」に変わっている。モデムの設定ファイルをインストールする際には同期64Kbps接続を選んだのだが、その際にアナログの設定も同時にインストールしているらしい。設定ファイルを別々にインストールする必要がないから初心者も迷わずに使えるだろう。

▶ 使い勝手がいい魅力的な商品

ISDN公衆電話がいくら増えたとはいえ、ISDNを使えるホテルはまだ少ない。外で使うノートパソコンにはモデムカードを入れている人がほとんどではないだろうか。ただ、これからISDNが普及してくるにつれて、外でISDNが使える場面も多くなる。そのようなときにコネクタを交換するだけでたちまちTAになってしまうDUO128は大変便利だ。設定ソフトウェアが付いていないことや、モデムが28.8Kbpsでないことが少々気になるが、それを補って十分な魅力がある。

(編集部 kataoka@impress.co.jp)



② コネクタが付け替えられるようになっている。

DUO128



株式会社ビー・ユー・ジー



オープンプライス



03-3486-6710



PC/AT互換機、PC-9821シリーズ、マッキントッシュ



カード側ケーブル(1.4m)、ISDN回線用・一般電話回線用ケーブル(10cm)、主要インターネットアクセスソフトの設定ファイル、「Jterm3 Lite」



プリンターポートがふさがらないキャプチャー機能付きビデオカメラ

¥ 26,000円(通販価格)

株式会社コンテック

D-CAM

ここがスゴイ!

- ① プリンターポートがふさがらずにキャプチャー機能付きビデオカメラが使える
- ② シャッターボタンが付いている

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]



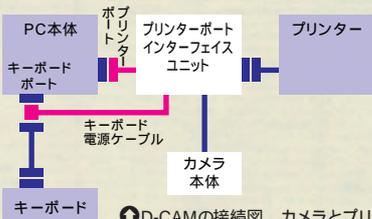
① キューカムやRUCOLAに比べると大柄な本体。横にあるのはプリンターインターフェイスユニット。

インターネット統合ソフトやメモリー、ビデオコンバーター、ルーターなどさまざまな商品を手がけるコンテックが、キャプチャー機能付きのビデオカメラ「D-CAM」を発売した。キャプチャー機能付きビデオカメラはConnectix社の「キューカム」とマクニカの「RUCOLA」があるが、その手軽さは、Cu-SeeMeをはじめとしたインターネット上のビデオ会議ソフト用に最適と言える。今回発売された「D-CAM」はキューカムやRUCOLAにはない機能を持っている。

プリンターがないのでモニター画面を見ながらの撮影になってしまうが。

▶ 使いやすい設定ソフト

D-CAMには「D-VIEW」というカメラを設定したりコントロールしたりするソフトウェアが付いているが、これは設定項目が豊富でなかなか便利だ。カラーと白黒、静止画と動画、シャッタースピード、画面解像度などが調節できる。とくにシャッタースピードは8段階にも調節できるので、暗い中での撮影もできる。なお、Connectix社製のビデオ会議ソフト「VideoPhone」がセットになったパッケージもあり、本体の26,000円に比べて、こちらは36,800円となっている。



▶ プリンターポートがふさがらない

キューカムやRUCOLAは、プリンターポートにコネクターをつなぐようになっており、そのために使っている間はプリンターポートがふさがってしまうという問題があった。Cu-SeeMeをやるたびにコネクターを抜き差しするのはかなり面倒だ。やはりいつでも使える状態にしておきたい。「D-CAM」で画期的なのは、プリンターポートを使ってカメラをつなぐにもかかわらず、そのままプリンターもつなげられるようになっている点だ。市販の分岐アダプターを買ってくれば済む話だが、そのようなアダプターはあまり一般的な商品ではないし、初心者にとっても親切だと思う。

プリンターポートに専用のユニットをつなぎ、カメラからのコネクターはこのユニットに付けるようになっている。ユニットにはプリンターポートが付いているので、ここにプリンターからのコネクターを差すというわけだ。(図1)

▶ シャッターボタンが付いている

D-CAMの特徴として、シャッターボタンが付いているという点が挙げられる。これはキューカムやRUCOLAにはなかった機能だ。このカメラは最大解像度が640×480ドットだが、CPUの能力を使ってキャプチャーするので解像度を最大にすると動画のキャプチャーはかなり遅くなる。静止画のキャプチャーには十分使えるので、デジタルカメラの代わりにもなる。このとき便利なのがこのシャッターボタンだ。キューカムやRUCOLAではこのボタンが付いていないので静止画をキャプチャーするにはマウスをクリックする必要があるが、これならボタンを押せば静止画が撮れるので、不自然な姿勢で操作することがない。ただし、ファイ



① エンハンスドCu-SeeMeの画面。

D-CAM

株式会社コンテック

¥ 26,000円(通販価格)

0120-54-9556

プリンターポートインターフェイスユニット、キャプチャーソフトウェア、ドライバーソフトウェア

http://www2.conteck.co.jp/v-phone/d_cam.htm

試用レポート

▶ 焦点調節がやりにくい

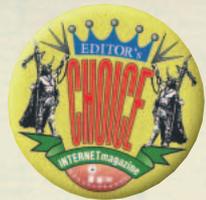
セットアップは付属のフロッピーディスクを使う。ディスクの中の「SETUP.EXE」をダブルクリックするだけの簡単さだ。これでカメラのドライバーと「D-VIEW」が同時にインストールされる。この作業が終わってから「エンハンスドCu-SeeMe」などのビデオ会議ソフトをインストールすればカメラが使えるようになる。キャプチャー中は本体のランプが点灯するようになっており、動画のキャプチャー中はランプが絶えず点滅する。

画質はなかなか良い。とくに静止画はクオリティーが高く、最高解像度の640×480にすればかなり鮮明な画像が得られる。ただ、動画では640×480では白黒にしてもかなり動きが鈍く、動画キャプチャーとして実用的に使えるのは320×240からだろう。

1つ気になったのは焦点調節をするためのリングの滑りに抵抗がほとんどなく、やりづらかったことだ。この点はもう少し改良してほしい。また、プリンターに付けるユニットも少々大きく、電源不要にもかかわらず、ノートパソコンと組み合わせての携帯には少々不向きだ。

本体デザインは好みが分かれるところだが、プリンターポートの分岐アダプターが付いて26,000円というのはお買い得だ。また、D-CAMにはPC-9821シリーズの発売も予定されているので、98ユーザーにも魅力的な商品と言える。

(編集部kataoka@impress.co.jp)



ワープロ感覚で作れる高機能なホームページ作成ソフト

ホタルVer3.0 フォー ウィンドウズ95

HOTALL Ver3.0 for Windows 95



20,000円



デービーソフト株式会社

ここがスゴイ!

- ① フレームやテーブル、フォームの作成が簡単
- ② 透明GIF、クリックブルマップなどイメージ編集機能を内蔵

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]

HOTALLはワープロ感覚で簡単に作成できるホームページ作成ソフト。このジャンルはライバルひしめく激戦区だが、HOTALLはフレームやテーブルを簡単に編集できる機能や、Java対応、各ページのリンク情報を管理するリンクブラウザなど、さまざまな機能を内蔵することで他との差を付けている。ホームページ素材集を同梱するなど初心者を意識しつつも、HTMLのタグを直接編集するモードや、キー入力のカスタマイズができるなど、上級者にも便利な本格的なソフトになっている。

▶ ホームページ作成に必要な機能を凝縮

HOTALLは一言で言ってしまうと「ワープロ感覚で編集ができるホームページ作成ソフト」ということになる。ホームページを作る際に必要なHTML言語のタグを意識することなく、ワープロのようにメニューやアイコンから指定するだけで文字の装飾やイメージの配置などが簡単に行え、その場でほぼ完成体の画面を見ることができる。

こうしたソフトは最近では日本語対応のものがだいぶ増え、多くの製品がひしめいているが、HOTALLは高機能で表現力の高いホームページを作成できることを売りものにしている。例を挙げると、ホームページの画面を分割して表示するフレームの編集機能、細かい設定も可能な表(テーブル)編集機能、GIFイメージデータの透明化やインターレース化などのイメージ編集機能、HTMLタグの直接編集モード、ホームページのリンク情報や書式情報を管理するリンクブラウザの搭載、アンケートなどで利用するフォーム入力画面の編集機能などだ。

従来は、GIFイメージデータの編集、クリックブルマップの作成といったケースに合わせてそれぞれ特化したソフトを用意して使い分ける人も多かったのではないと思われるが、HOTALLには必要な機能はほとんどすべて1つに凝縮されていると言える。

▶ 初心者から上級者まで幅広く対応する柔軟なユーザーインターフェース

HOTALLを起動し、新規作成を選ぶかデータを読み込むかさえすれば、すぐに見慣れたワープロソフトと同じような画面が現れる。ウィンドウの中には書式関連やフォント関連のツールバーがあり、あとは文字を入力してワープロと同じ感覚で書式を設定していけばいい。

ドラッグ・アンド・ドロップにも対応しているので、GIFやJPEGなどのイメージデータやテキストデータなどを、エクスプローラや付属のリンクブラウザから編集画面にマウスでドロップすれば、すぐにデータを埋め込める。ドロップされたデータは自動判別され、それぞれデータに合わせた処理を行ってくれるので、作業は非常に簡略化できる。

フレームやテーブルも編集は簡単だ。フレームを指定すると、実際に画面上で分割された画面になり、それぞれフレームの設定を行える。ただし、フレーム表示のまま中々のデータを編集することはできず、一度別のウィンドウにして再読み込みして編集ウィンドウを切り替える必要がある。テーブルもワープロ感覚で、一度メニューかアイコンから表の挿入を選べばすぐに表が現れ、セル単位の細かい設定などもメニューからすぐに指定できる。セル単位の背景色指定や、セルの結合、分離といった従来では非常に面倒だった編集もHOTALLなら簡単だ。

こうして簡単なことを強調すると、逆に上級者からは「すべて自動化されているから融通がきかない」と思われがちだが、HOTALLには直接HTMLタグを編集するモードもあり、HOTALLが対応していないタグや、細かいパラメーター指定なども自由に行える。また、「キー設定」を利用することで、さまざまな機能を任意の短いキー入力で呼び出すことができるようになるため、テキストエディタのような柔軟なカスタマイズも可能になっており、上級者向けの配慮もされている。

▶ 望まれる低価格化と細かな機能の充実

気になる面もある。アイコンやクリップアートなどのホームページ素材集や、FTP転送ツールを含むなど、初心者にも気を配った構成になっているのは評価できるものの、これらは内容的にまだ「おまけ」的な域を脱していない面もあり、単にカタログスペック上で「あれもこれも」と並べ立てることの材料にされているようにも見受けられる。

また価格が定価で2万円というのはややパーソナルユーザーには手軽とはいえない。もともと魅力の高いソフトであるだけに、こうした点を次のバージョンアップで改良すれば、ライバルひしめく中でもかなり目立つ存在になるのではないだろうか。マッキントッシュ版も開発中とのことなので、こちらにも期待したい。

(石橋文健)



① インターネットマガジンのホームページを読み込んでみた。レイアウトどおりに表示される。



② 画像の加工もさまざまな処理ができる。これは透過GIFを作成しているところ。



③ サンプルの画像はカテゴリーに分けて収録されている。

HOTALL Ver3.0 for Windows 95



デービーソフト株式会社



20,000円



3.0



011-807-6730



<http://www.db-soft.co.jp/hotall.htm>



ネットスケープで表示したページを音声で読み上げる

¥ 9,800円

株式会社システム・ラボ



NETMan Talks!

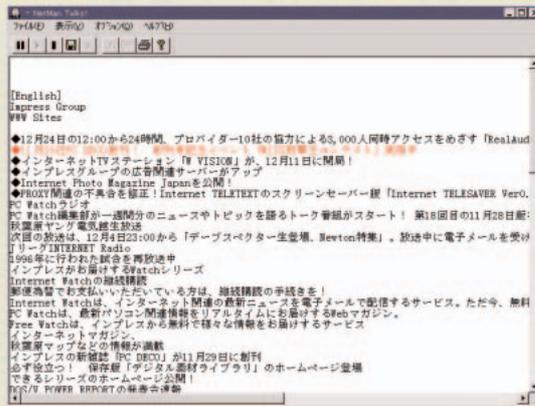
ここがスゴイ!

- 1 表示されたページを自動的に読み上げる
- 2 HTMLファイルも読み上げる

おすすめ度

- [ユニークさ]
- [コストパフォーマンス]
- [使いやすさ]
- [期待度]
- [総合]

NETManのテキストボックス。現在の部分を読み上げているのが分かる。



やすくなる。

一部のHTMLタグも読める

インターネットに特化した機能もある。単に表示されたページのテキストを読み上げるだけでなく、一部のHTMLタグを読むこともできる。選択できるのはタイトルタグ、コメントタグの2つだ。フレームなどを使っていて単なるテキストの読み上げでは構成が分かりにくいページを読み上げる際には便利な機能だ。

このほかには、英字をアルファベットとして読むか英語として読むか、数字の読み方、記号の読み方、英文字を読む際に大文字と小文字を区別するか、というような設定項目がある。また、音源を8ビットと16ビットのどちらを使うかという設定もあり、さまざまにカスタマイズができる。

英語の辞書が少ないことが難点

NETManは基本的には日本語の読み上げソフトであり、英文を読み上げるには難がある。日本語の中にときどき出てくる英語には、いくらか対応もできるが、辞書は十分とは言えない。開発元のシステム・ラボによると、「英語に関しては翻訳ソフトと組み合わせるってほしい」とのことだ。この点は少し残念だ。インターネットのコンテンツは英語を使ったものが圧倒的に多いのだから、英語も日本語も読み上げられるようにしたほうが使い手の幅は広がると思う。辞書のアップデートの際にはぜひ考慮してほしい。

また、従来の読み上げソフトのように、読ませたい部分を指定してコピーし、テキストボックスに貼り付けて読ませるといった操作もできるようにしてほしい。インターネットに特化していることで操作がシンプルな点は評価できるが、ふつうのテキストファイルを読ませるために別の読み上げソフトを用意するのはユーザーにとってやはり不便だろう。

初のインターネット対応の読み上げソフトとして期待

以上のような難点もあるが、今までにはなかったインターネットに対応した読み上げソフトとしてNETManは注目される。ニュースサイトを読ませてラジオみたいな使い方もできるし、目の不自由な人にも朗報と言える。今後のアップグレードで熟成されることを期待したい。

(編集部kataoka@impress.co.jp)

最近ではパソコンで表示した文章を読み上げる「読み上げソフト」が各社から発売されている。このようなソフトウェアは従来、読み上げてほしいテキストの部分をコピーするなど煩雑な操作が必要だった。今回紹介する「NETMan Talks!」(以降NETManと表記)は、このような操作をする必要がなく、ネットスケープナビゲーターが表示したページを自動的に読み上げてくれる便利なソフトだ。

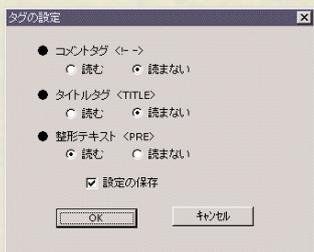
自動的に読み上げを開始

NETManは従来の単なる読み上げソフトとは異なり、ネットスケープナビゲーターに対応している。ネットスケープナビゲーターが表示したページを自動的に読み上げてくれるソフトだ。ネットスケープが起動していないとNETManも起動できない。ネットスケープ専用で作られた、プラグインのようなソフトだ。

操作は簡単だ。ネットスケープを起動したあとにNETManを起動する。あとはURLを入力してリターンキーを押せば、表示されたサイトを自動的に読み上げる。ページで表示されたテキストは自動的にNETManのテキストボックスにも表示され、このテキストボックスでは読み上げる部分の色が変化して、今どの部分を読んでいるかが分かるようになっていく。

表示音声のタイプは「男性」「女性」「ロボット」と3種類が選べる。ロボットはともかく、男性と女性の声はなるべく自然に聞こえるように配慮されている。読み上げソフトはまだ発展途上のジャンルであり、完全に人の声と同じとはいえないが、とくに聞き取りづらいということはない。声のアクセント、高さ、読み上げの速さなどを設定できるので、ユーザーの好みに応じて聞き取りやすいように設定すればさらに聞き

読み上げの設定画面。聞きやすいように設定できる。



HTMLタグを読み上げるかどうか設定できる。

NETMan Talks!

株式会社システム・ラボ

9,800円

03-5397-7511

http://www.systemlab.co.jp/



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp